



仁淀病院からのお知らせ



「入院中からの退院支援について」

医療相談室・地域連携室 中本 典子

仁淀病院には医療相談室・地域医療連携室があり、患者さんたちが安心して在宅復帰できるような相談窓口を担当しています。急な病気や怪我で入院をすると、生活のリズムが乱れたり、不安を抱えることもあるかと思えます。時代の流れの中で、かつてのように1か所の病院でゆっくりと入院し、治療～療養生活を送ることは難しくなってきました。このような時代では入院中の早い時期から退院へ向けて準備をすることが必要となってきます。私たちソーシャルワーカーはそういった方々の不安を少しでも解消し、できる限りその方らしい生活を取り戻せるためのお手伝いをさせていただいています。たとえば、

○（相談窓口）

入院当初から病室にお伺いをしてお話を聞かせていただくことで、困っていることはないか、またどうすれば解決に繋がるかを一緒に考えていきます。

○（連絡調整）

担当のケアマネージャーさんや在宅サービスの機関、役場の担当課（ほけん福祉課・包括支援センターなど）と連絡を取り合うこともあります。また介護保険などの手続きがスムーズに進むよう連携をとっていくこともできます。

○（退院前の在宅訪問）

お体の状態によっては、入院前と同様の生活が困難な場合もあります。外出の機会などを利用して、リハビリ訓練のスタッフ（理学療法士や作業療法士）やケアマネージャーさんらと共にご自宅を訪問させていただき、必要な準備を提案させていただくこともあります。

○（カンファレンス～話し合いの場～）

退院後の生活に向けて準備することを確認していきます。必要に応じて医師や病棟の看護師やリハビリスタッフ、ケアマネージャーさんらと共に話し合いの場を持ちます。

仁淀病院の地域連携室・医療相談室は現在、看護師1名・ソーシャルワーカー2名・事務1名の4名体制です。「入院のご案内」の中にしおりが入っていますが、ご不明な点などございましたら、いつでもお気軽にお声をお掛けください。秘密は厳守します。

「訪問看護ステーションの退院支援について」

いの町立訪問看護ステーション 野村亜由美

訪問看護とは

…看護師やリハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士）が生活の場へ訪問し、療養生活を支援するサービスです。

訪問看護の退院支援

…退院後の生活について、不安なことや悩んでいることはありませんか？



「状態が落ち着いているので退院を」と言われたけど、家に帰っても大丈夫だろうか？



病院では病気のことばかり考えてしまいがち。家で気分転換することが有効な場合があります。当ステーションは24時間の対応ができますので、不安なときはいつでも連絡がとれます。



入院する前に比べると足が弱った気がする。物忘れもひどくなったような…家に帰ったら困るんじゃないだろうか？



住み慣れた家に帰り、日常の用事をしていると物忘れが落ちつくこともあります。また、お家でのリハビリもできます。ご心配なことがあれば、解決策を私たちと一緒に考えていきましょう。

高齢化が進み、様々な合併症を抱えながら暮らす方がたくさんいらっしゃいます。私たちはそんな皆さんの生活スタイルに配慮しながら訪問をしています。ご相談などございましたらお気軽にお問い合わせください。

※サービスの利用については、**医師の指示**が必要です。

※利用される方の状態にあわせて訪問看護計画をたて、**定期的な訪問**を行っています。

■ 問い合わせ 医療相談室・地域医療連携室（仁淀病院1階 売店横）
訪問看護ステーション（仁淀病院1階）

☎ 893-1551
☎ 893-0220